

生涯学習フォーラム 「地域づくりと生涯学習－歴史文化遺産を活かした地域づくり－」

社会連携研究センターは、毎年1回、滋賀県社会教育研究会と共催で、「生涯学習フォーラム」を開催している。

今年度は、「地方創生と社会教育」というテーマで、10月14日（金）13時30分より、湖南市中央まちづくりセンターで開催された。フォーラムの趣旨およびプログラムは以下のとおりである。

【趣 旨】

滋賀県内の生涯学習・社会教育関係者が、今日の生涯学習・社会教育の現状と課題について学習・交流し、これからの社会教育の振興と活動の活性化を目的に開催する。今回は、地域創生として各自治体がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会や魅力あふれる地方を築くことをめざして事業を展開している中、地域が担う自主的な取組みを社会教育の課題としてどのように捉えるかをテーマに、実践事例をまじえ学習する。

【主 催】

滋賀県社会教育研究会・滋賀大学社会連携研究センター

【後 援】

滋賀県教育委員会・滋賀県社会教育委員連絡協議会・滋賀県公民館連絡協議会

【内 容】

13:00 受付

13:30 開会行事

滋賀県社会教育研究会会長 川中 浩司

滋賀大学社会連携研究センター長 神部 純一

滋賀県教育委員会生涯学習課長 大西 良子 氏

湖南市教育委員会 教育部次長 小川 幸晶 氏

13:40 基調講演

「ファインダーからみえる滋賀の姿」

写真家 寿福 滋 氏

15:00 休憩

15:10 事例発表

①地方創生交付金を活用したまちづくり

「ふるさと日野の歴史」発刊について

日野町教育委員会生涯学習課 課長補佐 岡井 健司 氏

②愛着と誇りを持てるまちづくりをめざして

「守山まるごと活性化」の取り組みについて

守山市社会教育委員会議 委員長 山本 富夫 氏

【講演】

基調講演では、写真家の寿福滋氏に「ファインダーからみえる滋賀の姿」と題して話をいただいた。

寿福氏は滋賀県内で撮影したすばらしい風景や石像、祭りの写真をふんだんに使いながら、滋賀の美しさについて語り、その中で「朝日と夕日が両方とも美しいところは、日本中僕はいろいろ行っていますが、たぶん滋賀県だけだと思います。・・・滋賀県というのは、光にすごく恵まれた、しかも変化のある場所で、光の魅力のあるまちだということ、1日で2度楽しいまちということをお伝えしたいと思います」と述べられた。

【事例発表】

① 地方創生交付金を活用したまちづくり「ふるさと日野の歴史」発刊について

日野町教育委員会生涯学習課課長補佐岡井健司氏からは、『ふるさと日野の歴史』という冊子の刊行に至る背景と、それを使った取り組みを報告していただいた。

小学校6年生の児童に、配布する時に「ふるさと学習」という出前授業を実施したところ、大変好評だったということだ。

② 愛着と誇りを持てるまちづくりをめざして

守山市社会教育委員会議委員長山本富夫氏からは、「守山まるごと活性化」の取り組みについて報告いただいた。守山市では「住みやすさ日本一を実感できる守山の実現」を目指して、とにかく地域の自然、歴史、生活のありよう、物事、そういった地域資源、これを宝物として生かす魅力的なまちづくりに取り込んでいこうと、現在市内、7学区、31プロジェクトを進めているところである。例えば、「速野まるごと博物館」や「ふるさとの文化をみつめなおし守ろうプロジェクト」等、多様なプロジェクトが展開されている。



(文責 教授 神部 純一)